



古川 昇  
議員  
**糸魚川市の  
在宅介護充実について**

糸魚川市の  
在宅介護充実について

質問

在宅介護を阻む要因及び在宅介護を促す施策について伺う。また、介護保険制度改定に関する情勢はどうか。

市長答弁

在宅介護を阻む要因は、一人暮らしの高齢者世帯や高齢者のみの世帯の増加にあると考えている。

在宅介護を進めていく方策として、今年度、高齢者が住みなれた住宅で安心して過ごせるよう、住宅改修費用の補助



吉岡 静夫  
議員

**工場建設の断念・挫折**

質問

工場建設の断念・挫折  
能生地域で進められていた工場建設計画が断念に至った経緯、原因、今後の対応は。また、企業誘致の取り組みの基本姿勢について伺う。

市長答弁

工場建設を予定していた企業の計画では50名の雇用増が見込まれたことから、市が工場用地の用地取得及び造成を行い、同社と賃貸借する方向で昨年4月から取り組んできた。しかし、その後、漁獲量減少等

制度を新たに創設したが、訪問介護や訪問看護のサービスを組み合わせた利用など、今後も在宅介護を促す取り組みを進めていきたい。

介護保険制度改定に関する情勢としては、現在、軽度の要支援1、2と認定された方のサービスを介護保険制度から市町村事業へ移行することが検討されており、今後の動向を注視していきたい。



による原材料の高騰、さらに最近の円安による調達コスト上昇のため資金計画が厳しくなり、本年3月29日、同社から新工場建設断念の報告があったものである。造成地の中には個人所有地もあり、安定した土地利用を図るため、この土地を取得し、企業立地に取り組んでいきたいと考えている。

企業誘致の取り組みについては、企業立地が定住人口の増加に不可欠なことであり、基本姿勢としては、市内企業の新増設や市外企業の誘致を図っていききたいと考えている。

**平和教育について**

質問

平和教育について  
昨年の中学生広島派遣の成果や、糸魚川独自の平和学習について伺う。

教育長答弁

広島派遣については、昨年度初めて12名の中学2年生を派遣した。その後、各学校では報告会なども行われ、被ばくの恐ろしさや苦しみ、平和の尊さを再認識する機会となったと考えている。また、市独自の平和学習としては、名立機雷事

**柵口温泉センターの  
独立しての存続**

質問

柵口温泉センターの存続を求める住民からの請願が前議会で継続審査となった。当施設は、健康・福祉の拠点、地域格差是正の拠点として独立したかたちでの存続が必要と考えるが、その後の動きはどうか。

市長答弁

柵口温泉センターについては、その利用促進に努めている

件を教材とした学習を行っている。



《その他質問項目》

・ 認知症の安心対策について  
・ 集落活性化支援事業について

ところであるが、十分な成果が得られないことから、これまでと同様、入浴機能を権現荘に一本化する方向で取り組んでいきたいと考えている。

《その他質問項目》

・ 「米田徹のお約束」という文書  
・ 施政への姿勢。「開発は善か」、「経済発展は絶対」か。  
・ 糸魚川の顔、JR糸魚川駅前アーケード  
・ 姫川病院